

団体の基本情報

活動概要

当会は、国民の健康やQuality of Life向上を睡眠の視点から支援することを目的に、睡眠ソリューションを開発・製造・輸入・販売及び利用を検討する事業者等を行う事業者と、最先端の睡眠研究を行うアカデミアが連携したコンソーシアムです。睡眠データを活用したサービス開発のための睡眠品質の基準作りの取り組みを契機に、様々な事業者と連携し、睡眠サービス以外の健康増進・予防やQOL向上に資するサービス開発へ展開し、また、医療・介護等への連携も視野に、個人の様々な情報を利活用するためのプラットフォーム構築や環境整備を目指します。

会員企業数

26（昨年：21）

Webページ

<https://sleepip.jp/>

ガイドラインの概要

ガイドライン名

睡眠ソリューションの有効性評価に関するガイドライン

概要

睡眠ソリューション※について、消費者の睡眠の質の向上その他消費者の利益に資するために、科学的根拠をもって、それらの安全性、機能性その他の性能評価を行い、またそれらの適正な表示を行うための指針として策定するもの。
食品を睡眠ソリューションとする場合は、本ガイドラインの内容が、機能性表示食品の届出にかかる届出資料となりうるもの。
※睡眠ソリューション：日本国民の健康を睡眠の観点から支援することの実現のために開発する製品・サービス。

ガイドラインURL

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/downloadfiles/sip.pdf

ガイドラインに係る今年度の活動実績

活動実績

消費者の認知や理解を広げる活動

・一般社団法人睡眠ヘルスケア協議会(SHA)との連携

→SHAが発行するガイドラインと、SIPが発行したガイドラインについて、重複部分を整理し、総論として結合することで睡眠業界におけるガイドラインを1本化

・消費者の声を聞き、取組に生かす活動

→各サブWG活動におけるPOC活動を通じて、世代や属性別にヒアリング。ガイドラインや業界ルールへの具体的な反映を狙い、会員企業へのフィードバックやtoC向けイベントへの参加等を通じフォローアップを行う

・ガイドラインに賛同する事業者を広げる活動

ホームページや定期総会等を活用し、ガイドラインの趣旨や好事例、認証制度（予定）等を分かりやすく周知し、活動レポートの公開や個別相談とあわせて実務的な支援を充実させることで、賛同事業者の拡大とガイドラインの普及を図りたい。